

(頁十てで合刊夕朝)

助、日本の理解がなければ獨逸

發行
東京
表
現
社

念にして優美な品です
▲送料 内十八圓外五十五圓

寸は深緑の可愛らしい品
▲煎茶 内州錢外六十錢

に付き其後住所を届出な

上司小劍

揮畫 伊東深水筆

題「小春日」……CIII
○ 京 城 木
○ 春日や銀杏の古葉又も散る
○ 營口 銀

郡延鑄村百花園にては例年
黄金八重鞠吹禮辭殿、裏笠
の撫子吹、最大輪吹二組
濱費共五本一組廿錢二組
組五本一組廿錢二組
取交十本一組廿錢二組卅五
色八重牡丹吹水仙五球廿錢
五錢苺赤葉南天取交五本
の實費を以て二三夜にて閑
養法を添へ何人へも急送す

◎い男女が喜ぶ！
ひみつ写真

京日案内

いふ男
必らず心得置かねばならぬ
事でありながら、御存じな
人印しを盗む御方は此の

秋月
 尺作
 八
 大日本家庭音楽
 電話一五四四二七
 行所 關西市中島町七
 大日本家庭音楽
 電話一五四四二七
 行所 關西市中島町七

ビオフェルミン

腸疾患治療及其
豫防劑として奏
効を確認せられ
たる糖化菌含有
乳酸菌製劑!!

本劑は乳酸菌の腸内制腐並整腸作用と糖化菌の腸内滅粉作用とが彼我相通じて卓越なる整腸消化作用を發揮すべき完全乳酸菌製劑にして既に數年來醫界に於て最も重要な藥劑として公認せられたるものなり。

適應症 諸種の腸疾患、小兒綠便、常習便秘、腸機能衰弱、鼓腸、慢性胃腸炎、糖尿病等。
本劑に關する説明書は發賣元より郵呈す。
粉末及錠劑あり、全國知名藥店に販賣す。

元 豐 源
可修通廣東市觀大
店 高 海 兵 長 國 武

元 豐 源
可修二市戶神
新 瀧 實 生 衛 戶 神 會 社 總 經 理

(148)

資本金六百萬圓
明治三十八年設立

當銀行ハ預金貸金爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

株式會社 漢城銀行

頭取 韓相龍

支店所在地
本願 平壤 大田 開城 京城南大門 釜山
東京 大田 京城東大門 大邱
出張所在場
東幕 平壤 大和町 京城西大門 京城本町

醇良

釀造元

朝鮮發賣元

河野又一本店

無比

東京府墨田區目黒町
電話化門 三四五番

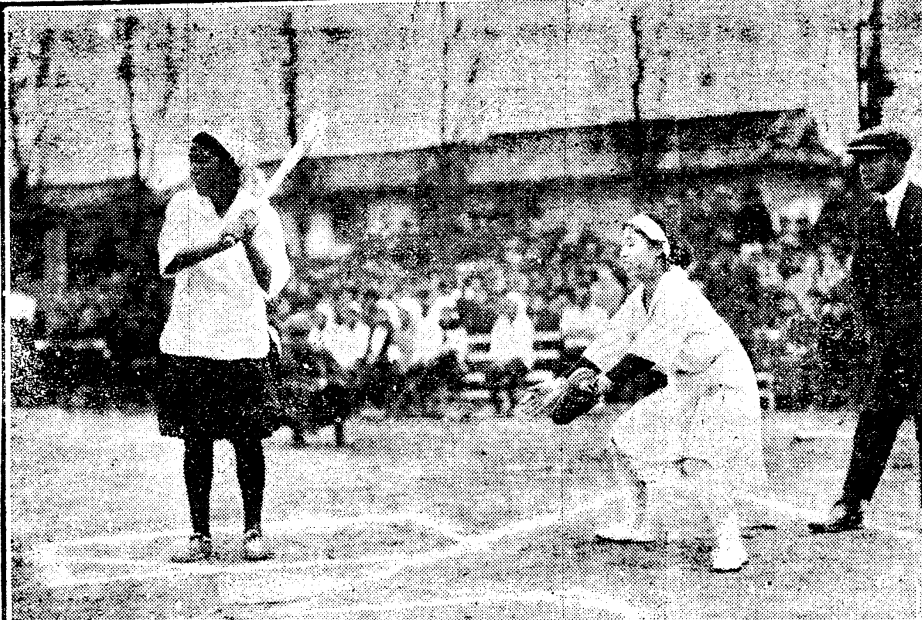
府長官の 生計調査

廿五圓の月収で
家族三人の賄ひ
被服費も美容費もない生活
月収の大関八五圓

生計調査の結果

項目	金額
月収	25.00
家族人数	3人
被服費	0.00
美容費	0.00
その他	0.00

女学生の野球試合
大関の月収八五圓



海軍大演習

明春一月中旬舉行
大巡洋艦は見合せ

強盗犯人

花蓮港の大火
全焼百六十一戸

記念簿
總裁推戴
御承請願書
久遠大將官

大杉の葬儀
無宗教執行
九月十六日午後二時

米國の演奏が
東京で聴ける
逓信省は大騒ぎ

一日千圓の割合で
貞操蹂躪賠償
結婚前と違ふと

府内各警察が
徹宵して警戒
歳末犯罪の豫防に努むる

急設電話
本局の分は
十六日開始

公娼廢止
運動を開始
鮮人側も

成川署の猛獸狩
不逞輩の示威運動も兼ねて

十五歳で
水兵になれる
少年電信兵として採用

二券番の置屋が
今度の内訓は承知出来ぬ

練兵町
兩市場
いよいよ復活

五人共謀の偽
造事件

満鐵賞與
例年通り給與
満洲国

林町の強盗
直に捕縛さる

拘捕常習犯
三名網にかゝる

棋盤郎を抵當に
句師が甘萬圓の借金

實篤氏の愛人
女兒を分悦

急設電話
本局の分は
十六日開始

色白くなる
サザン
本邦唯一の精良日
開業一週年自祝のため
至十月十六日 四日間御来店の
御客には 御土産物を進呈
忘年会新年宴會
大宴會に好適の大廣間あります
室内は暖房設備御昇降には昇降機が
あります
黄金町二丁目角
日本生命ビルディング内
花月食堂
電話二五七番

米國製金式
スケート 荷著
同競争用
長さ一尺五寸、一尺二寸各種
其他男女學生用種々
滋川 寫眞機店
電話三三七番

胃腸科
石川醫院
電話一三三九番

新年宴會
御豫算の範圍内で充分勉強
致します
京城 はり半
電話本局二六四番
一九五七番

明治屋の商品切手
吉例により
御歳暮品 賣出相始申候

贈られても重寶な
明治屋の商品切手
吉例により
御歳暮品 賣出相始申候

三十一圖

大正九年一月廿四日發行
の發行私は大阪府警務局長
の職務に兼任した。

太界夫
（左）外國の紳士三人 一人はは
たき男、性正、川田芳と何れも
若く男界一花は人は私であら
う。

太界夫
（右）私大坂府警務局長の職務に兼任した。

大正九年一月廿四日發行

◆は外國の老紳士、一人

た若い女性、一人は私であつた。處が私宛の電報を其婦人が誤つて其婦人がた事から女奴と思つてゐた人記者の友人が大坂へ新聞の婦人記者の記者である事が分つた。管々、其の話し話に接しにして翌日私は其婦人記者の厚意で京都の隠れた婦人記者の厚意で賣つた、其婦人の云ふのは中流以上の夫人令嬢達の一種の娯樂場である論男子禁制の

樂部にケークを訪ねた。女

チ夫人に紹介した。實はこの偶落
部は今尚ほ存在してゐるから其
思ふを許くのはケリ、女史に濟まぬ
幕ふのだが少し位ものは差支えある
まいと考へて……

角角△△六段 宮松彌三郎(東京)
角落△△三段 三上市太郎 東京
番△△五三某段の局向

角落△△六段 宮松彌三郎(東京)
角落△△三段 三上市太郎 東京
番△△五三某段の局向

二
步
飛

王	王	王	王	王	王
步	步	步	步	步	步
角	角	角	角	角	角
銀	銀	銀	銀	銀	銀
金	金	金	金	金	金
桂	桂	桂	桂	桂	桂
香	香	香	香	香	香

五八金(右)△七二金▲六七金

三金▲六歩▲四三王▲二五歩
三二王▲四八銀 (以下次號)

十二月十四日
(舊曆十一月七日)

▲川▲田▲東▲金
▲辛酉▲大安▲收▲斐

▼三鰯▲中途で捲ける日輩む上
は遠くが移世語薬物坤と乾が
▼四縁▲黙つた事は行うて必ず

▼六白▲無茶苦茶な事ある日

終へずにして、安んじ北と罷と南が
 七赤▲出過ぎては損すス内險
 行つて在外和益がある罷と良が
 八白▲新しして利は罷の面白く
 良の罷を統つて和と北と南と
 九紫▲議事調子よく良に難々
 白▲精出せば出す程細く
 益がある、南と良と罷が

開金運絡船

十三日	朝、景福丸	夜、德盛丸	午前十一時
十四日	朝、景福丸	夜、德盛丸	午後九時三十分
十五日	朝、景福丸	夜、德盛丸	

首府は至つて

若しむ人々に告ぐ

[illegible]

京域府明治町二丁目(本町明治鼠櫓より入)

驚クベキ特效藥

中島小兒科病院

院長 中島貞

入院隨意

（普通病室）電話本局三七
（隔離病室）

用化ノ原因ハ血質ノ變性力又ハ發達不充分乃至ハ血質ノ
ノ異物ニ觸レテ變化ヲ來スニ因ルモノナリト斷定サレテ

[illegible]

スル速カニ且確實ニ奏効スルノトナラス病症慢性ニテ頑固

[illegible]

振替貯金口座京城入

同龍山出張所
京成府光町二丁目 電話 龍山
銀行一般ノ業務ニ確實ニ取扱可申
支行及ノ龍山出張所ハ株式會社
代理事務取扱申候

てい

輪目

三氏重能

られ月に六十圓の税金
有様にて到底これに耐
目下建設工事中の東京府
郡三高村大澤密蔵大蔵天
成化散置散置散置

補血強壯

補血強壯

帝國大學病院 赤十字社病院 各府縣立病院 御採用
醫學博士 市川三郎氏 醫學博士 增山正信氏
醫學博士 栗林氏 醫學博士 堀江氏
醫學博士 齋藤生一氏
醫學博士 森島孝雄氏
其他多數醫院及家
實驗御推薦

一 芳香美味良藥にして日に快し
二 絶對に胃腸を害せず食慾を増進す
三 速に吸收され血を増し肉を肥やす

肺血氣壯増進劑 里味フルトーゼ（二月分金）三、四円
肺經實熱壯健劑 アルゼフルトーゼ（一月分金）五、六円
風病寛治効劑 ヨードフルトーゼ（一月分金）四、五円
健胃補血強壯劑 キナフルトーゼ（一月分金）四、五円
呼吸器系疾患特效劑 グラヤコルフルトーゼ（一月分金）四、五円

珠玉の美を矜らむよりは
先づ健康の美に生きよ

永森
于三



立神	九十二月廿五日	波國行
磁基	九十二月十六日	江蘇行
事	九十二月十五日	下陽行
事	九十二月十八日	大及行
元山代辦店	吉田忠雄會社	
京城代理店	蘇州町	電話二七〇

[illegible]

●大坂行 （群山木浦船）	●天智丸 九月	●宮島丸 九月	●大信丸 九月	●南浦安渡行	●東莞丸 九月	●第七原田丸 九月
日午後三時出	日午後三時出	日午後三時出	日午後三時出	日午後三時出	日午後三時出	日午後三時出

●城津清銀行	元山出帆
新高九十月	日午後五時出帆
●釜山門司 宇品神戸 大板行	
東北九十月	日午後四時出帆
大連出帆	
●上海廣州基隆雄州 (但し印は青島港)	
湖北九十月	日午後三時出帆
東京九十月	日午後二時出帆

仁川出入
三菱商事株式會社
仁川支店
電話二六六
仁川京城通商旅館
電話二八四
專務仲次仁川本町
荷捌仁川港町
電話四二二番

尾道假神行 住 帆
長浦丸
三瓶山丸
大黒山丸
月月月月
日日日日

三菱株式會社船部

浦崎商店回漕店
仁川本町四丁目
電話五二五五〇